

都市再生整備計画（宇都宮駅周辺地区）事後評価の概要

（１）計画概要

【地区名】宇都宮駅周辺地区
 【面積】71ヘクタール
 【交付期間】平成18年度～平成22年度
 【交付対象事業費】約22億円（国費率40%）
 【区域】今泉1丁目，南大通り4丁目，川向町，東宿郷1・2丁目，宿郷1・2丁目，駅前通り3丁目 ほか

（２）まちづくりの目標

- 【大目標】
 北関東をリードするひと・もの・文化の交流するゲートシティの形成
 県都・宇都宮の玄関口として，ひと・もの・文化が活発に交流し，安全で安心なまちづくりを行う
- 【小目標】
- ・北関東最大のターミナル駅に相応しい交通結節機能の強化
 - ・地域の魅力を向上し，ひと・もの・文化が活発に交流するまちづくり
 - ・すべての人にやさしく安全で安心なまちづくり

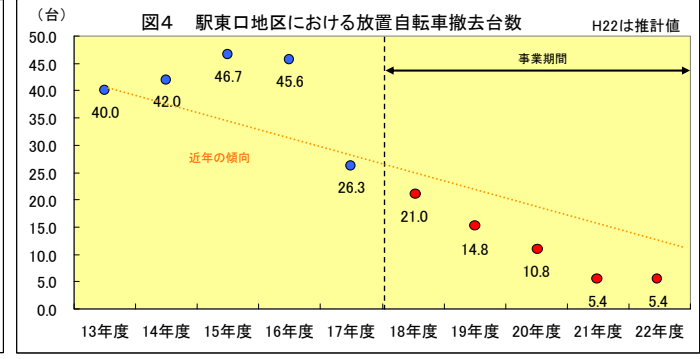
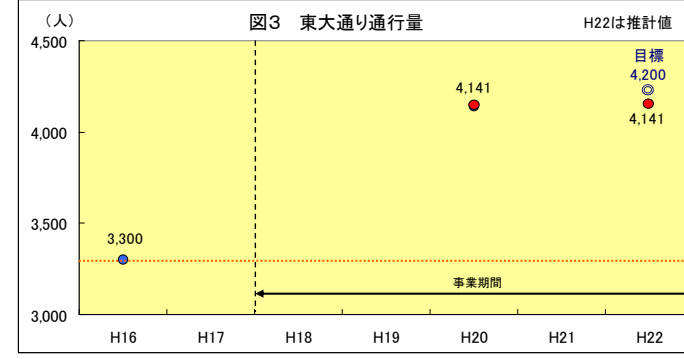
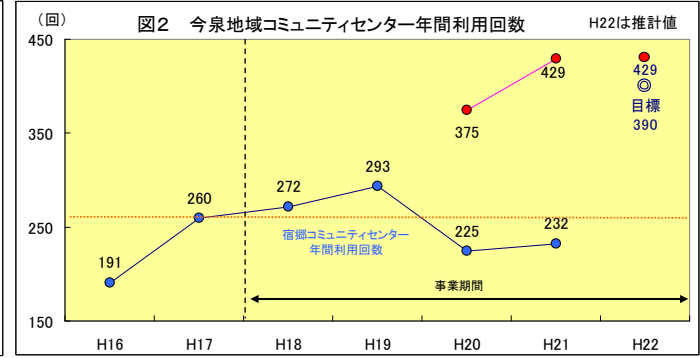
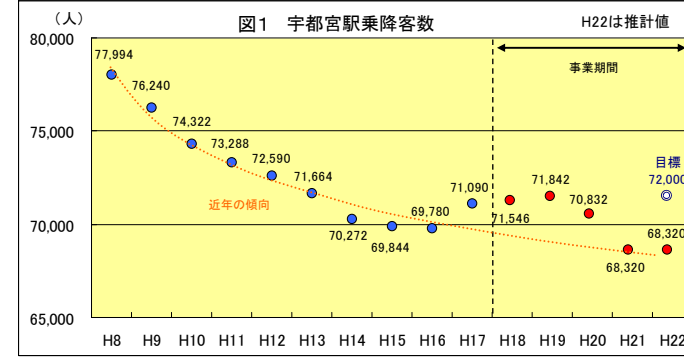
（３）目標の達成状況

指標	単位	従前値	目標値	事後評価	備考
宇都宮駅乗降客数	人/日	70,000 (H14)	72,000 (H22)	68,320	事業期間中に一時微増に転じるなど減少傾向が緩やかになっている
今泉地域コミュニティセンター年間利用回数	回/年	260 (H17)	390 (H22)	429	増加している
東大通り通行量	人/日	3,300 (H16)	4,200 (H22)	4,141	増加傾向にある
駅東口地区における放置自転車撤去台数	台	26.3 (H17)	-	5.4	減少している
その他		コミュニティセンターにおいて，住民の地域交流や様々な催し物が実施されている 駅東口地区の賑わい創出を期待するなど市民のまちづくりへの意識が高まっている 市民等による美化活動が行われ，まちづくり活動への参画意識が高まっている 安全で安心なまちづくりにより，犯罪の予防が図られている。			

注）駅東口地区における放置自転車撤去台数は，当初設定した数値目標以外の指標（参考値）

（４）実施課程の評価

- 【モニタリング】事業の進捗状況や指標及びその他の数値指標の効果発現状況の確認（H21.8）
 【住民参加プロセス】住民説明会の実施，地元住民によるコイの放流イベント
 【持続的なまちづくり体制の構築】今泉地区コミュニティ協議会



（５）まちの課題の変化

- 駅前広場や自転車駐車場の整備によりバス・タクシーや乗降場からの乗り換え利便性及び自転車・バイク利用者の利便性が向上した
- バリアフリーの推進等による安全で安心なまちづくりの推進及び水辺空間の整備や植栽による緑あふれる都市空間の創出が図られた。また，明るくて開放的な東西自由通路に改築するなど宇都宮の玄関口としての魅力が向上した
- 宇都宮駅乗降客数は，宇都宮駅東西自由通路整備等の交通結節機能の強化に取り組んだことで，減少傾向が緩やかになったが，近年の経済情勢の変動や高速道路の割引による影響から，いまだ減少傾向にある
- 本地区を含む中心市街地活性化計画区域内の居住人口は，都心居住促進策等の実施により，下げ止まり傾向にあるものの，賑わい創出のためには，広域交通の要衝地という立地特性を生かした広域的な交流を促進する新たな都市拠点の形成による来街者の増加や，引き続き，都心居住の促進による定住人口の増加を図っていく必要がある
- 低炭素型の環境にやさしいまちづくりを推進するため，過度な自動車依存からの脱却を図る必要がある

（６）今後のまちづくり方策

まちの課題	まちづくり方策
来街者の増加	広域交通の要衝地という立地特性を生かした広域的な交流を促進する新たな拠点の形成や多様な機能集積により，来街者の増加を図る
居住人口の増加	市民ニーズにも対応した生活空間の形成により，更なる都心居住の促進を図る
自動車依存からの脱却	多様な交通手段によるアクセス性の向上，自転車の利用促進と公共交通等の整備の充実により，環境にやさしいまちづくりに取り組む